

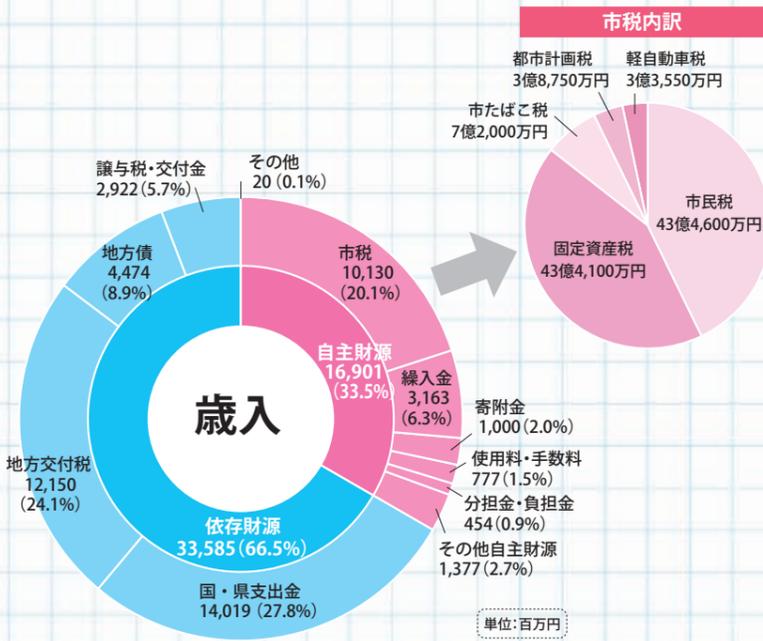
次代を築く、かのや未来創造予算

平成29年度 一般会計当初予算
総額 504億8,600万円
 (対前年度比 47億1千万円増 10.3%増)

平成29年度当初予算が、3月に開かれた鹿屋市議会定例会で議決されました。

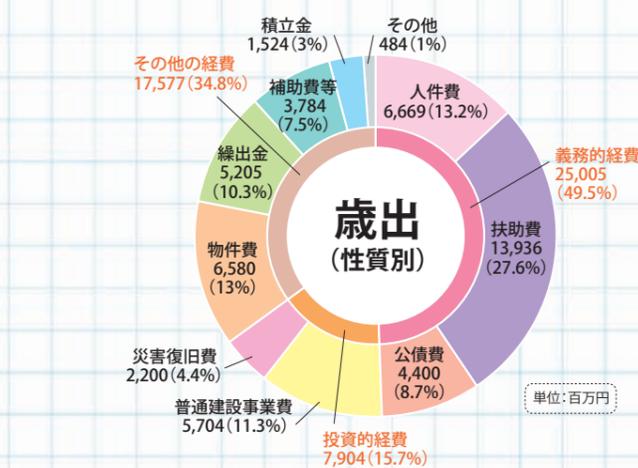
一般会計当初予算の総額は、504億8,600万円で、前年度当初予算と比較すると10.3%の増となりました。このうち、台風16号災害復旧関連予算を除いた予算額は484億4,108万1千円となり、対前年度比5.8%の増となります。

平成29年度は、引き続き“市民が主役の明るい未来”の実現に向けて、健全財政を念頭に置きつつ、市民サービスの維持向上や産業振興、地域活性化に全力をあげて取り組むこととし、「鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「かのや農業・農村戦略ビジョン」に位置付けた事業を積極的に展開してまいります。



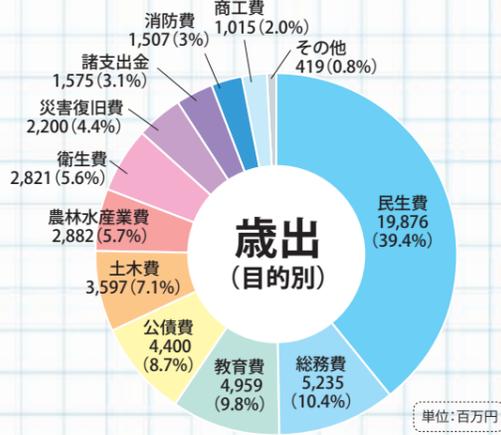
歳入予算では、自主財源のうち、市税は、前年度予算に比べて、3億9,450万円増の101億3,000万円となっています。また、各基金からの繰入金は、ふるさと納税制度でいただいた寄附金をもとに、本市の発展・活性化のために実施する事業への活用などにより、3億1,607万4千円増の31億6,311万7千円となっています。

依存財源のうち、地方交付税は6億5,000万円減の121億5,000万円、台風16号災害復旧等のため、国・県支出金は21億4,087万9千円増の140億1,921万6千円となっています。市債は、台風16号災害復旧や平和公園多目的野球場の改修、情報インフラ整備などにより、14億6,730万円増の44億7,400万円となっています。



歳出予算では、義務的経費のうち、人件費は職員数の減などにより、前年度に比べ、3億4,931万3千円減の66億6,850万6千円となっています。扶助費は、障害福祉サービス利用件数の増などにより、8,068万円増の139億3,592万9千円、公債費は、3,660万4千円減の44億3万4千円となっています。

投資的経費のうち、普通建設事業費は、各種計画に基づくスポーツ施設再配置、霧島ヶ丘公園整備、情報インフラ整備等の大型事業の実施などにより、18億4,253万4千円の増となっています。災害復旧費については、台風16号災害の本格的な復旧を行うため、20億4,622万9千円の増となっています。



● 施政方針

私が市長に就任して、3年余りが経過したところであり、市民が主役の明るい未来の実現に向けて市政運営に取り組めたことは、皆様のあたたかい御理解と御協力によるものと深く感謝申し上げます。

国においては、経済対策の円滑かつ着実な実施により、内需を下支えするとともに、民需主導の持続的な経済成長と一億総活躍社会の着実な実現に向け、経済、子育て、社会保障に重点を置いた施策を推進することとしており、また、本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、先導的な

事業を安定的・継続的に支援することにより、地方の創意工夫を引き出し、実情に応じた取組を推進することとしております。

本市としましては、将来にわたって持続可能な活力ある地域社会を形成していくため、市民一人ひとりが夢や希望を持って安心して暮らせる地域づくりに向けた実効性の高い施策・事業を重点的に展開するとともに国や県の政策と連動しながら、地方創生の実現に向けて継続的に取り組んでまいります。

今後の市政運営につきまして、鹿屋・大隅地域にとって非常に重要な時期であると認識しており、市民の皆様が将来に希望を持って安心して暮らせる、豊か

- 3つの基本方針**
- 雇用と所得につながる産業おこし
 - みんなで築く安心・安全でやさしい地域づくり
 - 笑顔があふれる元気百倍の人づくり

- 5つの戦略**
- 1 雇用と所得につながる産業をおこすまちづくり ⇒ P 6
 - 2 広域連携を積極的に推進するまちづくり ⇒ P 7
 - 3 笑顔あふれる安心・安全なまちづくり ⇒ P 8
 - 4 心豊かに学び、地域文化を育むまちづくり ⇒ P 7
 - 5 安全で快適に暮らせるまちづくり ⇒ P 9



《平成29年3月鹿屋市議会定例会 中西茂市長施政方針より抜粋》

※施政方針の全文は、市ホームページに掲載しています。

今号は、2月23日開会の鹿屋市3月議会定例会で中西茂市長が述べた市政運営の基本方針となる施政方針の概要と、3月22日に議決された平成29年度当初予算について紹介します。

豊かさと温もりを実感できる 市民が主役の明るい未来 の実現に向けて

新「副市長」を紹介します

福井逸人氏の副市長退任に伴い、3月22日、3月議会定例会で、新副市長に今崎裕一氏(47歳)が選任され、4月1日から就任しました。

【経歴】
 岩手大学大学院農学研究所修了後、平成9年に農林水産省に入省し、生産局畜産部の畜産振興課飼料専門官兼大臣官房秘書課、畜産振興課課長補佐を歴任。

3月22日、議場であいさつをする今崎裕一副市長